

# ロシアによるウクライナ侵略の状況

(2023年11月22日時点)

➤ **ウクライナ軍**は、東部(ドネツク州)及び南部(ザポリヅジャ州)での攻勢が停滞する中、ヘルソン正面やクリミア半島方面への攻撃を継続する一方、**露軍**は、東部で攻勢を強めるとともに、各地への攻撃を継続している模様

戦闘による人的被害・物的損耗の状況

露軍: 死者約12万人、負傷者約18万人(NYT8月18日)

: 死者約15万人(「ウ」軍総司令官11月1日)

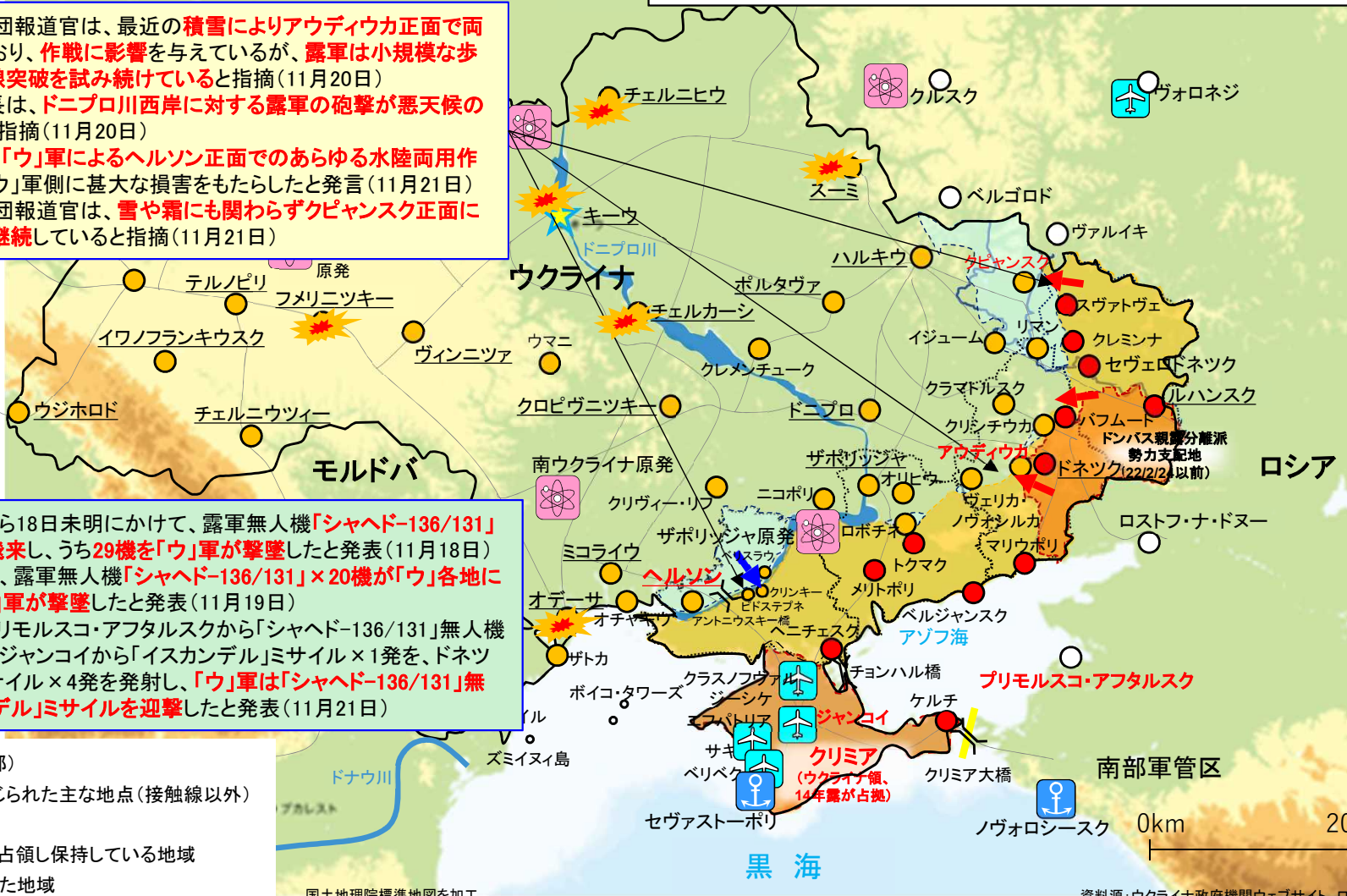
「ウ」軍: 死者約7万人、負傷者約12万人(NYT8月18日)

: 死傷者推定10万人以上(クリストファーセン「ノ」軍参謀総長1月22日)

「ウ」市民: 死者10,000人以上、負傷者1万8,000人以上(UNOCHA11月21日)

- 「ウ」軍第47機械化旅団報道官は、最近の積雪によりアウディウカ正面で両軍の視界が遮られており、作戦に影響を与えているが、露軍は小規模な歩兵部隊を活用して戦線突破を試み続けていると指摘(11月20日)
- ヘルソン州「ウ」軍政長は、ドニプロ川西岸に対する露軍の砲撃が悪天候のために減少していると指摘(11月20日)
- 露国防相は、露軍が、「ウ」軍によるヘルソン正面でのあらゆる水陸両用作戦の試みを阻止し、「ウ」軍側に甚大な損害をもたらしたと発言(11月21日)
- 「ウ」軍第14機械化旅団報道官は、雪や霜にも関わらずクピャンスク正面における露軍の攻勢が継続していると指摘(11月21日)

- メドヴェージェフ露国家安保会議副議長は、2023年1月1日以降に確保された**契約兵が約41万人**に上っていると発表(11月9日)
- 米NSC戦略広報調整官は、イランがロシアに対する弾道ミサイル供与を検討している可能性がある旨指摘(11月21日)
- 国連は、露による「ウ」侵略以降の「ウ」民間人死者数が、子供560人を含む少なくとも**1万人**に上り、**18,500人以上が負傷**している旨指摘(11月21日)



- 「ウ」空軍は、17日夜から18日未明にかけて、露軍無人機「シャヘド-136/131」×38機が「ウ」各地に飛来し、うち29機を「ウ」軍が撃墜したと発表(11月18日)
- 「ウ」空軍は、19日未明、露軍無人機「シャヘド-136/131」×20機が「ウ」各地に飛来し、うち15機を「ウ」軍が撃墜したと発表(11月19日)
- 「ウ」空軍は、露軍がプリモルスコ・アフトアルスクから「シャヘド-136/131」無人機×10機を、クリミア半島ジャンコイから「イスカンデル」ミサイル×1発を、ドネツク方面から「S-300」ミサイル×4発を发射し、「ウ」軍は「シャヘド-136/131」無人機×9機と「イスカンデル」ミサイルを迎撃したと発表(11月21日)

国土院標準地図を加工

資料源:ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等